

説苑



帝國議會から路政問題を聴く(一)

一 記者

◇

興亞議會。聖戰第三年目に於ける第七十四回帝國議會は一月二十一日から再開せられた。何しろ一月四日には突如として近衛内閣が挂冠し、平沼内閣之に代つたのであるが、事實上は近衛氏も平沼内閣の無任所大臣として閣僚に連つて居るので、見様に依つては近衛内閣の延長とでも云ふべきである。殊に其の豫算案や政策は、其の儘現内閣が踏襲

して居るのであつて、此の點佛作つた人と魂を造る人と異なるとは云ふものゝ益々此の感を深うする。従つて議會の質疑も、近衛政策に對する批判の範圍を出でない。しかも眞當は、實行力に特徴を持つべき現内閣が、また何かしら國民の總親和とかと云ふ建前か、議會の空氣も和やかと云ふ氣分を超越して、稍々精彩を缺くかにさへ見受けられた。斯様に大勢は兎も角も、東亞新秩序建設の階段を前提とする現在に於ては、苟も個々の政策に付ては相當論議せら

れ、究明も行はるべきであることは、國民の等しく期待した所であつた。殊に總努力と云ふことは、現内閣の一枚看板であるに鑑みても尙更ら然りであつた。が事實は、見透された如くに、大した收穫もなかつたことは争へない。

然るにかゝる雰圍氣の中に於ても、路政問題に付ては、豫算總會を初め分科會等に於て相當活潑なる論議を見たことは、我國現下の道路政策が如何に長期建設戦に即應する喫緊事であるかを裏書きするものであり、興亞の覇業に不可欠な重大案件であることを物語るものであらう。

以下之等の論議を摘録して、議場内の眞の姿を披露し、讀者の批判を仰がんとするものである。

衆議院豫算總會に於て、小山谷藏委員は次の如き質問をなした。過日此の席上で鐵道大臣の話では、今日我國の幹線鐵道は殆ど飽和點に達してゐる。故に將來に於ては、更に別の路線を考へねばならぬと云ふ意味のことであつた。

これは正に其の通りである。我々が汽車に乗らうと思つても、中々容易に乗せて呉れない。寢臺なんか容易に有りやしない。今日の時局に於て、我國の所謂鐵道輸送能力と云ふものは、殆ど飽和點に近い。是は重大問題である。國を擧げて今生産力擴充だと云つて居る。陸軍大臣は過日此の議場に於て、「ソ」支兩面作戰準備をせねばならぬと云はれたが是も其の通りで、現今の國際情勢に於て尤も至極だと思ふ。斯ふ云ふ情勢を前にして、併て今國力を傾けて生産力擴充に努めて居る是等の生産力が擴充された場合に、一體輸送機關はどうなるか。又決して望ましいことではないが、又想像も致したくないことだが、陸軍當局の言の如き「ソ」支兩面軍備が、物を言はなければならぬと云ふやうな事態に立至つた場合に、一體輸送能力はどうなるのだ。鐵道當局は考へると云ふが、考へた結果、イツ其の決定をするのか、假に其の考へた結果決定したと假定すれば、其の所謂複線計畫なるものを實行するには、何十年と云ふ年月を要するだらうと素人ながらも考へる。それで軍當局

としても、或は企畫院當局としても、考へがあるであらうが、即ち我が日本の近き將來を想像した時に、是では相成らぬと云ふ考が先づ私の頭に浮んで來るのである。ソコで此の問題解決の爲に、内務大臣に道路政策に關してお尋をする。

道路政策に付ては、私の記憶する所に過ちなしとすれば、昭和八年であつたと思ふが、所謂道路計畫なるものが内務省の土木會議に於て決定せられ、八億圓の豫算を以て、全國六千里に近い道路の改修舗装をやらうと云ふことに決定した。確か國道が千八百何十里、府縣道が四千四百何十里合計六千里餘であつた。夫れに對する豫算は八億圓、二十年計畫、隨分氣長い話であるが、兎に角サウ云ふ計畫が定められた。本年の豫算書を見ると八百萬圓かソコらである。只今申した計畫を以て進んで行けば、少くとも一年平均四千萬圓の改修費が要るのであるが、今年は僅に八百萬圓である。過去此の計畫が決定されてから、今日に至る迄の政府の支出を見ると、毎年千一、三百萬圓づゝ出して居る。今

年は又減つた。コンナことでは、誠に手緩いと思ふ。此の二十年計畫すらも到底出來はしない。殊に況や先程申上げた如き我國の事態に應ずる唯一の手段としては、此の道路建設を促進すると云ふことが最も大切だと考へる。獨逸のアノ國道計畫を見て、佛蘭西や何かが震へて居ると云ふ話、是れは陸軍大臣の方が能く御承知だ。今日道路計畫が産業の上からも、國防上からも亦、鐵道大臣が話されたやうな事態から考へても、一日として忽せにすることの出來ぬ大問題だと考へるのである。殊に道路が良くなると、我國全國に散在する八百萬臺の自轉車、十五萬臺の自動車、是が専門家の計算した所によると、「ダイヤ」の破損や、或は自動車、自轉車等の傷みの少くなると云ふ利益が三億五千萬圓にもなるさうであるから、是は政府當局としては、獨り内務大臣の管轄であるからと云つて、内務大臣の管轄に任して置いてはイケない。陸軍大臣ナンか特に力を入れて協力して、此の緊迫せる陸上輸送問題解決の爲に、道路政策と云ふものを茲に確立されなければならぬと信ずるが、之

に對する内務大臣並陸軍大臣の御所見を伺つて置きたい。

是に對し、木戸國務大臣は、只今小山さんから御尋ねの道路計畫に付きては御話の通りで、土木會議に於て既に決定致した只今御話の通りの案があるのである。其の後色々財政上の關係其の他の事情に依つて、是が繰延されて居ることは甚だ遺憾である。殊に只今御話のやうな國防上の關係、生産力擴充の問題に鑑みまして、十分に此の計畫は促進したいと考へて居る。本年度の豫算に於て夫を實現することは出来ませぬが、私の在職中一つ十分努力して見たいと考へて居る。と答辯した。

板垣國務大臣は、陸軍と致しましても、只今の御意見は洵に御尤な御意見と思ひます。將來とも十分此の促進方に於て盡力したいと思ひます。と答へた。

小山委員は、只今道路政策に關して、當局の御意見を御尋ねした所が、夫に對して内務大臣としては、決して現狀に満足して居るものではない。更に陸軍大臣からは、我々の見る所と全く同感であると云ふ御答辯を得たのである。

私は此の問題に付てソナ答辯を戴いても、實行は中々困難だ。是まで内務當局としては可なり努力をしても、只今申上げた通り今年の豫算の如きは僅かに八百萬圓で、段々減つて行く。増して行かなければならぬものが、逆に減つて行く。是は思ふに國防上の見地、殊に企畫院等に於ても、此の點に付ては十分なる御研究が既にあることゝ存じます。唯要は、實行である、道路を拵へて悪いと云ふ人は誰もありませぬ。ドウゾ其の實行に向つて最善の努力と又、陸軍當局等は國防上の見地より十分なる御協力あらんことを切に御願申上げて置く。と結んだ。



大藏省所管の豫算分科會に於ては、堤康次郎委員は、次の如き質疑を試みた。

今日までは、戰爭遂行を目的とする豫算である。是からは長期建設をしなければならぬ。隨て豫算の編成の方針にも、そこに自ら相違が出て來る。そこで資材を用ふること

が少く、しかも其の資材が我が國內に於て間に合ふやうなもの、或は大部分が勞力費であると云ふやうな事業は、出来る丈けやらなければならぬ。即ち道路とか、港灣とか、河川とか、床固め、斯様なことは出来る丈けやつて、銃後に榮養を供給し、又産業の發展を助長する意味からやらなければならぬと私は考へるが、當局の考へは如何であるか。

石渡國務大臣。事變は一段階を劃して、長期建設の時期に入つたことは仰せの通りである。併し又一方に於ては必要なる戰鬪を繼續して行くと云ふことであるので、長期建設に入つたから、港灣、道路と云ふものに付て、物資の要らぬ、勞力を主とする仕事に付ては、餘程考へねばいかぬと云ふ御話であるが、併しながら、是はやはり程度の問題であると思ふのである。殊に今後は國防の充實、經濟建設、必要なる戰鬪と云ふものに集中されて行くものと思ふのである。隨て勞力の關係からしても、相當考へなければならぬ點があるのではないかと思つて居る。如何にも仰せの通り、外國から入つて來る物資と云ふものは大して要らない

ものもあらうが、又同時に勞力に付ても餘程考へなければいけない問題もあるのである。其の邊を按排して、道路、港灣等も考へて行く必要があると存する。港灣の問題にしても、港灣にはやはり相當の戰時物資が必要であるのであつて、港灣であるからと云つて、之を今後に於て餘計に認めて行くと思ふことは、或は當分出來兼ねるのではないかと思つて居る。

堤委員。港灣は如何にも「コンクリート」の工事が相當ある。隨て鐵筋なども多く要するのであるから、是は相當考慮の必要もあらう。併し此の道路や河川は、其の勞力が國防の關係も考慮して行かなければならぬと云ふ大藏大臣の御答ではあるが、併し國防の爲に要する勞力と、道路及河川の如く、農閑期に農村の餘剩勞力を使つてやる仕事は、私は衝突する所は極く少いと思ふのであるが、此の點は大藏大臣は如何に御考へであるか、是は特に内務當局の別々の御答辯を承る必要のある時は申し上げますから、主として大藏大臣から御答辯を伺つた方が却て便宜かと思ふ。



石渡國務大臣。勞力の問題も、是は中々重要な問題であつて、只今御話の農閑期に於ての勞力を利用する。サウ云ふ程度のももあるかと存するが、同時に又港灣にも道路にも、相當の専門的の勞力が必要とする所もあるかと存するのである、が農閑期に於いても、應召の關係もあり、又市街地方面に於ける軍需品工業の労働者の關係もあつて、其の方面に於ける勞力の保有と云ふものも是亦頗る少くなつて居るのではあるま、小と思ふ。供しながら決して道路に於て之を無用視すると云ふやうなことはない積りであつて、本年度の豫算に於ても、必要な道路に於ては相當豫算を計上して居る次第である。

堤委員。大藏大臣は、其の點まだ下情に通じて居られない。勞力が國防の爲に要する勞力と、道路に要する勞力とは、是は全然違ふのです。國防産業が只今殷賑だ。併し道路人夫を國防産業の職工に使つたつて何の役にも立ちはず

ぬ、極めて専門の道路工事の棒頭になると云ふやうな者は、特殊のものであるけれども、後の大部分は農村の農閑期を利用して稼ぐことになる。そこで應召の關係上農村の勞力が不足して居ると云ふ説であるが、是は大變な違ひである。如何にも應召せられて居るだけ農村の勞力は減つて居る。是はもうチャンと本を讀んでも新聞を讀んでも、分ることである。併しながら農村の春の植付と秋の收穫と其の間の手入、其の春と秋とは猫の手も借りたいと云ふ程勞力は不足して居るけれども、冬から春に掛けての勞力と云ふものは、マルで遊んで居るのである。ソコで其の勞力を利用して仕事をするに云ふことはどうゆうことになるかと云ふと、是は銃後の榮養を供給すると云ふことになる。私は是は必要だと思ふ。今の景氣は全く跋行景氣である。景氣の好い所は著しく景氣が好いけれども、農村などでは仕事がなく、冬から春に掛けては全く遊んで居る。サウ云ふ遊んで居る勞力を使つて出来る仕事は、是は出来るだけやらなければならぬものであると私は思ふのである。

石渡國務大臣。農閑期に於ける所の勞力を利用して、道

路工事をやるならば、一向差支ないではないかと云ふ御話

であるが、此の點は勞力がサウ云ふ風にして得られる勞力

ならば、餘程考へ易い問題であると思ふが、道路と云つて

も道路にも依りませう。道路全體がサウ云ふ風なことで、

農閑期に於ける農村の過剩勞力で出来るかと云ふと、中々

サウも行かぬだらうと思ふ。併し是はサウ云ふ方面に於て

は比較的考へ易い問題であると存じます。何れにしても、

此の道路に付ては勞力の問題もあると同時に、又物資の問

題もある。夫は主として國內で出来る物資ではあるが其の

物資に關する問題も相當あると存じます。夫で一方に金が

必要だと云ふ時局に於て、道路、港灣を餘計にやると云ふ

ことは、私はイカヌかと存じます。併しながら必要な道路、

港灣に付ては勿論やらなければイケないのであつて、此の

點に付ては之を物資がない。勞力が少ないからと云ふ様な

ことでは、仰しやる通り國全體の經濟が縮んで行くと存じ

ます。夫で必要に應じて道路、港灣をやると云ふことに付

ては私は異存ございませぬ。

◇

堤委員。道路、港灣と對句のやうになつて居るが、港灣

には「コンクリート」工事が相當あるのであつて、鐵材を

要する。私が道路のことを聽いて居る時に、港灣と云ふこ

とを附け加へて云はれると、私の議論が薄弱になるから、

ドウカ港灣と云ふことは答辯の中から抜いて戴きたい。ソ

コで大藏大臣は、道路の實際をマダ餘り能く御存じない。

是は無理からぬことであるが、少し此の點を研究して貰ひ

たい。ソコで道路を作るにはドウ云ふ勞力が入用かと云ふ

と、技術者の設計、ソレから其の設計を監督する所謂現場

監督、ソレから土方です。其の土方の仕事と云ふものは、

農村の農閑期に十分間に合ふ、唯極く専門の棒頭だけが入

用なのである。そこで農村の閑な時には其の仕事を下ツと

進める。夫から農繁期の忙しい時には技術者は設計をして

置く。斯う云ふ工合に活きた仕事をやれば、遊んで居る勞

力が活きる。何が一番不經濟かと云ふと何んと云つても、國民が遊ぶことが一番不經濟だ。其の遊ぶ勞力を使つて銃後の榮養を供給する、是が政治だ。其の點を能く研究して戴きたい。私は今國防産業の重要なことはよく承知して居る。事變が一階段になつたからと言つたつて、更に躍進日本に適應するだけの準備をしなければならぬ。そこで夫を犠牲にしてまでやれと云ふのではないが、其の點を經濟的に使つてうまくやらなくてはならぬと云ふのが、私の論點です。殊に道路などは、昭和八年の土木會議の決定は、二十箇年に八億圓、毎年四千萬圓の豫算を以て國道及び指定府縣道の六千三百里を改良すると云ふことになつて居るが、年々千二、三百萬圓より豫算が取れないので大變遅れて居る。殊に舗装道路などは、大都市の極く近所の所が少し出來て居る位のものである。國道は十五%の舗装が出來て居るが、府縣道はタツタ三%に過ぎない。殊に道路の舗装をやることに付て、其の經費の十分ノ九が勞力であつて、十分ノ一が資材、其の資材も道路の舗装に付ては「アスフ

アルト」の舗装があり、「コンクリート」の舗装があり、四角に切つた石でやる舗装があります。切つた石は是は海外に仰がなくても宜い。「アスファルト」はドウかと云ふと、石油の廢つたものを使ふのであつて、之を使ふことは寧ろ石油事業の獎勵になる。斯う云ふことである。「セメント」はドウかと云ふと、現在は「セメント」は、幾らか石炭を使はなければならぬ。是は軍需産業其の他一般の産業は石炭を原料とするものであるから、多少其の點で衝突する所があります。併しながら今「セメント」はドウかと云へば十の生産力に對して六割六分の操業短縮をやつて居る。夫だけ機械を遊ばせて居る夫を少し石炭を使へば「セメント」の工場は「フル」に動かせる、遊んで居るものも使へると云ふことになる。だから物は總て程度の問題であるが、程度を能く按排して國民を遊ばせないやうにする。外の産業と衝突しないものには十分仕事をさせて、積極日本に適應するやうな政治をやつて貰ひたい。斯う云ふのが私の主眼である。

石渡國務大臣。御趣旨には御同感でございます。



堤委員。ソレから又舗装をすると、沿道の農作物の被害が少くなる。栃木縣で試験をした所に依ると、農作物の被害は、舗装をした所とせぬ所とは、一割五分から五割も違ふと云ふことである。夫から自動車の耐久力が、普通は三年のものが六年、倍も持つ。「ガソリン」はドウかと云ふと、二割節約出来る。サウ云ふ大きな節約が、内地の極く一部分の資材と、大部分は遊んで居る餘剩勞力で出来る。斯う云ふことである。此の貴重なる石油が二割も節約が出来る。斯う云ふことをドウしておやりにならないのか、私は今年度の豫算に道路の舗装費は全部削除せられて居ると記憶して居るのであるが、洵に其の點は遺憾だと思ふ。

石渡國務大臣。道路の舗装に付ては、道路舗装費としては、新規に計上はしませぬでしたけれども、道路の費用の中に舗装する金は含まれて居ります。夫で本年度の豫算に

於て道路を舗装しないと云ふ譯ではございませぬ。決して舗装を否認して居る譯ではございませぬ。

堤委員。是は豫算のことでは、却つて私の方が詳しいやうな譯です。道路の改良費の中から、夫れは舗装するのでありませう。併しながら改良せぬで出来て居る道路の舗装をする是が全部削除せられた筈である。ソコで其の當時私は是は甚だ面白くないことぢやないか、是ぢや政治になるまいと云ふことを申上げた。——主計局長、能く一つ御聽きを願ひたい。所が其の當時是は國策として、石油の消費を節減することであるから、必要なことである必要ことであるけれども、主計局長が近頃非常に興奮をして居る。サウして何でも全滅だ、是もプチ切れと云ふやうなことで、ドウにも是は話にならぬと云ふことを、大藏省の主腦部の方から私は聞いて居る。軍國多事の際に、是だけの豫算を編成せられまする谷口主計局長の勞苦は御察し申します。ソレは興奮せられることも尤もである、併しながら大體の見透しを付けなくちやならぬ。是は資材は大して必要でな

い。而して餘剩勞力で出来るると云ふやうな仕事は出来るだけやつて、サウして銃後の榮養も全うし、「ガソリン」の消費も節約する。斯う云ふことに考へて行かなければならぬと思ふ。是は谷口主計局長などは餘程考へて戴きたい。唯豫算の事務をやるだけぢやない。豫算と云ふものは、申すまでもなく政治を反映さすものである。是は私は政治になつて居ないと斯う思ふのである。



石渡國務大臣。道路の舗装の問題に付て色々御尋ねがございましたが、是は今堤さんの仰せの通り、既に出來上つて居る道路に付て舗装を全然しないと云ふことではないやうでありまして、出來上つて居る道路に付き、舗装するものもあるやうに私は承知して居るのでございます。結局其の數が少ない、其の金が少ないと云ふ御指摘であると存するのでございます。是は豫算全體に關する問題でございますが、私は此の非常時に際しまして、道路の豫算と云ふ

ものは、相當見積つてあると實は存じて居るのであります。私個人の意見としては、道路の費用と云ふものは、或はモウ少し、少なくとも宜いのではないかと考へて居つたのであるが、色々各方面からの御話も伺ひ、又資材其の他の關係の少ない點も考慮して、實は相當額見積つた積りで居るのでございます。尙ほ是で少ないと云ふことであれば、十五年度に於ては能く考へて見ます。

堤委員。

多い少ないと云ふのは、是は程度の議論になる。で私は此の今の時局柄必要なものと衝突するものをやれと云ふことは夫は無理だと云ふことはもう重々分つて居る。併し此の交通と云ふことは、是は餘程重大なことであつて、國と云ふ有機體は、交通が止つたならば、是は熔鑪爐の火が消えた様なものである。交通と云ふものは絶対に必要である。殊に又自動車の「ガソリン」なども節約しなければならぬが、併し自動車の交通が段々減つて來ると云ふことは夫は愈々日本が困つて居ると云ふことを目のあたりに外國に見せると云ふことになるのであつて、是は餘程考へな

ければならぬ。ソコで「ガソリン」の消費が二割も減り、自動車の耐久力が倍も保つ舗装と云ふやうなことはやらなければならぬのぢやないか、是が政治ぢやないか、而して夫が銑後の榮養になるぢやないか、斯う云ふことである。

夫を主計局長は、忙しいからと云つて興奮して、何も彼も十把一繁げに全減だ、打切れなると云ふことは、私は政治ぢやないと思ふ。豫算編成と云ふものは戦さぢやない。戦さは全減だ、プチ切れと云つても、夫は宜しい。併しさう云ふことでは政治ぢやない。私は大藏大臣は事務の御出身であるけれども、兎に角政治的の眼識があるとして非常に敬服して居る。ドウか來年度に於ては十分此の政治を反映して、生きた豫算を編成して貰ひたい。と云ふことを最後に希望して置く。



二月十日豫算委員第二分科會の最終日に於て、主査佐藤洋之助氏は左の如き質疑を試みた。

此の際お語り致しますが、政友、民政兩黨の御希望に依つて、私より質問を申し上げたいと思ふのであるが、御諒承を願ひ度う。

道路改良の必要なることは説明を要しないが、特に現下の生産力擴充の國策より見るも亦、國防的見地より見るも、道路網の完成並に是が改良は現下緊急の要務と認む。政府は之に鑑み多年の懸案たりし關門隧道計畫を十四年度に於て豫算化したることは之を多とするも、是が完成に十年の長年月を要するが如きは、時局の要求に副はざること甚だ多い。其の他國道の改良、府縣道の改良補助の如き莫大な既定費の繰延を爲せるのみか、新規事業の如き極めて少額を認めて居るに過ぎない。又「ガソリン」節約等の見地より道路舗装の急務なることを認め、政府は道路舗装の計畫を樹立したりと聞くが、本年の豫算に是が計上なきは甚だ遺憾に思ふ。是等の點に付て昭和十五年度以降に政府は如何なる對策を有するか、兩大臣より御答辯を得たい。

木戸國務大臣。只今道路改良其の他に關する對策に付て

の御尋ねでありました。道路に付きましたも、土木會議に於て大體の既定の計畫と云ふものは持つて居る。併し只今御話のやうに此の既定計畫と云ふものが、相當の繰延の爲に十分なる施行が行はれて居らぬのは、甚だ遺憾に存じて居る次第である。其の點は十分今後とも努力して行きたいと考へて居ります。殊に「ガソリン」節約其の他の爲に、又自動車の色々の點から道路が舗装されますことは必要なことでありますので、其の點も特に今後の對策として重點を置いて考へて行く積りである。

石渡國務大臣。道路の問題に付ても其の必要であることは十分承知致して居る譯であります。私卒直に申し上げれば、河川砂防其の他の治水工事と云ふものが必要であると云ふこと、道路とは少し趣を異にして居ると思ふ。海門海峽が十年掛ると云ふ御話でありましたが、關門海峽は相當軍需資材を必要とするものであつて、先づ明年之に著手したと云ふことを多として戴きたいと存じて居る次第である。斯う云ふやうな資材の必要なもの、又人の必要な事業

に於きましては、勢ひ節減さるゝの避くべからざるものと思ふのである。併しながら私は必要な道路を此の際削除すると云ふことを申す譯ではないのであります。色々御希望もございますので、此の點に付ては十分考慮を致します。

佐藤主査。只今内務大臣の御答辯に依れば、十分此の點に付ては考慮して、是が完成を圖ると云ふ話でありますから諒承を致して置きます。大藏大臣の只今關門海峽に對する戰時資材を使はれると云ふことは一應御尤であります。併し只今道路計畫、殊に舗裝計畫に於きましての必要は「セメント」砂利及人力でありますから、國內資材を以て之を充當することが出来るのである。御承知の如く鐵道の輸送は最早飽和點に達して居りまして、道路に依らざれば、總ての物資の輸送が出来ないと云ふ今日でありますから、國內資材に於て間に合ふものである所の此の「ベンプメント」の如きは十分に考慮せられて、是が完成を期せられんことを要室して質問を打切つて置きます。